



教会だより

〒400-0032 山梨県甲府市中央2-7-10

Tel 055-237-2531 Fax 055-237-2507

<http://catholic-kofu.com>

発行 甲府カトリック教会広報委員会

神父のつづやき

甲府・塩山主任司祭 白木 信一神父

イエスさまは、「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」（マルコ1：15）とのメッセージをもって、宣教を開始された。それを、マタイの福音書では、「神の国」の代わりに「天の国（てんのくに）」と記す。つまり、「天の国（てんのくに）」と「神の国」は同義語である。この「天の国」によく似た「天国（てんごく）」という語があるが、「神の国」を「天国」のことだと理解している人が非常に多いようなのである。しかし、「天国」と「神の国」は同義語ではない。

イエスさまは「神の国」を宣べ伝えたのであって、「天国」のことではなかった。そのため、イエスさまは「神の国」について多くを語られたが、「天国」については一言もなかった。キリスト者は、本来、「天国」ではなく「神の国」を求めるはずなのである。キリストも「まず、神の国とその義を求めなさい」（cf.マタイ6:33）と勧告している。

実は、私が「天国」ではなく「神の国」について意識したのは大学生になってからである。それまでは、「天国に行けるように」という思いはあっても、「神の国にはいたい」とか「神の国のために」という考えはなかったような気がする。

その背景には、「神の国にはいる」ということよりも、「天国に行けるように」との信仰教育が強調されており、信仰は「天国」に行くためのものとして教えられていたのではないかと思われる。教会の教えではそうではなかったのかもしれないが、少なくとも私はそのように捉えていた。そもそも、私が小神学校へ行くことを決心した大きな要因の一つは、「天国に行きたい」との思いであったと記憶している。天国にはいるためには、自分に降りかかる不条理なことや危害はとにかく我慢して耐え忍ばなければならないし、善いことをしなければならない、というのが私の信仰生活の理解だった。そのような生活は自分には難しいが、神父になればできるのだらうと、小学生らしい浅はかな捉え方で、神父への道を歩み始めたのだった。

死んでからの行き先である「天国」のために、この世ではとにかく我慢するとか、罪を犯さないように四六時中注意を払うという生活は、かなりくたびれてしまうのではないか。そんな生活に喜びがあるだろうか。イエスさまが教えてくださった「主の祈り」の中では、「天国に行けるように」ではなく、「み国が来ますように」と、つまり「神の国が来ますように」と祈っているのである。

教会は、死んでから行く「天国」のためよりも、既にこの世で始まっている「神の国」のためにある。教会は「天国」へ多くの人々を送るためというより、「神の国」のしるしとして、「神の国」を完成していくためにある。死んでから幸せになることを求めるのではなく、今生きていることが幸せであることを求めることが、「神の国」を求めることではないだろうか。

神に似せて創造され、神から命の息を吹き入れられて生きる者となった我々人間として、すでに始まっている「神の国」の平和、幸せ、自由をもっと積極的に深く味わうために、今をしっかりと生きるようにしようではないか。

お知らせ

1. 8月の平日のミサ

(1) 初金のミサ: 8月5日(金) 9時30分です。

ミサ後、聖書を読む会を行います。

(2) 早朝ミサ休止日のお知らせ

8月23日(火)、26日(金)、27日(土)のミサはお休みします。

2. 聖母被昇天のミサ

8月15日(月)9時よりサントルチア講堂で行います。

(主日のミサと時間が違いますのでお間違いのないようお願いいたします。)

3. 韓国語のミサの時間の変更

毎月第3日曜日(8月は21日)に行われている韓国語のミサの時間は12時30分からになりました。

(従前は12時でしたのでお間違いのないようお願いいたします。)

4. ミサの朗読奉仕者へのお願い

・共同祈願を、マイクを通して行いたいと思います。

・朗読奉仕の方々に順に、共同祈願の当番もお願いいたします。

・共同祈願の奉仕当番になった方は、行列には加わらなくても結構ですので、朗読者の隣にお座りください。

5. 「キリスト教入門講座」について

毎週日曜日に開催しています白木神父様のキリスト教入門講座は、7月24日～8月28日まで夏休みに入ります。

次回は、9月4日(日)より再開いたします。

(講座についてのお問い合わせは、白木神父様までお願い致します。)

6. 教会学校と中高生会からのお知らせ

教会学校・中高生会とも8月がお休みです。

教会学校・中高生会の2学期は、9月4日(日)より始まります。

教会学校のお友達の皆さん、夏休みはけがや病気・事故のないように過ごし、元気で2学期の教会学校に参加しましょう。

7. 第49回 横浜教区一粒会大会に参加しましょう!

(日時) 2016年9月22日(木曜日・秋分の日) 10時～15時

(場所) 横浜双葉学園講堂

(交通手段) 地区より貸し切りバスを出す予定です。(集合場所:甲府教会)

(申し込み締め切り) 2016年8月7日(日)

参加を希望される方は、センター掲示板にお名前をご記入ください。

8. 第20回 横浜教区 障害 共に歩む集い in ふじがおか

(日時) 9月17日(土)10時から15時30分

(場所) カトリック藤が丘教会

[参加費]無料

参加を希望される方は、8月20日(土)までにセンター掲示場の申込み用紙にお名前等をご記入下さい。

9. 第5回 ガク夏 in 箱根

(日時) 8月18日(木)~19日(金)

(場所) 函嶺白百合学園 パウロ館

(参加費) 7500円(地区から一部補助します。)

参加を希望される方は、センター入口のチラシをご覧の上、各自でお申込み下さい。

ただし、参加申し込みの際は、事前に今井久美青少年育成委員長までご連絡下さい。

10. 国際フェスタ(横浜教区/世界難民移住移動者の日)

主の食卓を囲んで

(日時) 9月25日(日) 11時30分~16時

(場所) カトリック末吉町教会

参加を希望される方は、センター入口のチラシをご覧の上、各自でお申込み下さい。

11. 第21回 横浜教区カテキスタ会公開講座

テーマ 「よりよい信徒の奉仕のために」(カテキスタの奉仕とは)

講師 横浜教区長 梅村昌弘司教

(日時) 2016年9月24日(土) 10時15分~15時

(場所) カトリック雪ノ下教会

(参加費) 1000円

(申し込み締め切り) 9月18日(日)

参加を希望される方は、センター入口の「第21回 横浜教区カテキスタ会公開講座」のチラシの申込書にご記入の上、直接 お申し込み下さい。

12. 教会一致懇談会

2016年度 日本の戦争をおぼえて、平和を祈る集会

(日時) 8月14日(日) 午後2時30分~4時30分

(場所) 日本キリスト教団 南甲府教会(甲府市南口4-11)

講演 『なぜ今 「日本キリスト教団罪責告白」なのか』

講師 村田元牧師

13. 関係団体などからのお知らせ

(1) NPO 法人やまなしライフサポート

① 炊き出しボランティア(調理)

毎週木曜日14:00~17:00 カトリックセンターにて行います。

ご都合の良い時間だけでもご参加いただけます。

8月11日(木)は、祝日ですが通常通り炊き出しを行います。

② 8月の夜間パトロール

8月20日(土)22時より、甲府市及び近郊のパトロールを行います。

ご参加いただける方は、甲府カトリック教会にご集合下さい。

(2)NPO 法人子どもサポートやまなし

①8月の主な予定

今月は、次のような行事等を予定しております。

皆様のお知り合いのお子様やご家族の方をお誘いされ、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

●こども食堂

(日時) 夏休み中の日曜日(7月24日・31日、8月7日・14日・21日・28日)

17時～20時

(場所) 山梨市駅前、富士薬局2階「ミラフレンズ」(放課後ティーサービス)

●第4回親子食堂 「そうめん流し」

8月20日(土) 17時～ 甲府カトリック教会

②学習会

8月14日(日)・8月28日(日) 13時30分～16時00分

山梨カトリック福祉センター

(送迎をして下さるボランティアを募集しております。)

なお、夏休み期間中(7月26日～8月31日)、補習会を甲府教会の空き室を利用して行いますがご協力をお願い致します。(使用施設には表示)

③事例検討会

8月19日(金)19時 甲府カトリック教会

④理事会・拡大運営委員会合同会議

8月16日(火) 18時30分～ 甲府カトリック教会

(お願い)

相談にお見えになれるお子様のご家族から、食料(特にお米は毎月200kg必要になっています)支援のお願いが沢山寄せられています。ご寄贈または安価で販売して下さる方をご紹介頂ければうれしく存じます。

(3)自殺予防ネットワーク山梨

8月6日(土)13時より、センターで「ふれあいサロン」を開催します。

当日 午後からセンターが17時まで使用できませんがよろしくお願い致します。

(以上)

「人生を考える。ネパール・ビ スケットの旅」の講演を聞いて
～思い出のネパール～

坂本君子

朝 鶏の鳴き声、はたおり機の音、メイドさんの歌声に床の中で目を覚まし、「ここはネパール、ネパール」と自分で自分にいい聞かせてた日々、あれからもう 11 年の歳月が流れていたとは夢にも思いませんでした。

ネパール旅行は、今では心の中の宝物です。それはヨーロッパへの巡礼の旅は思いついても、ネパールへとは、思ったこともなかったのですが、山田先生にお誘い頂き、「えっそんな所へ」と思いましたが、「面白いところですよ」と云われるお話にだんだん行って見たくなり参加させて頂いたという訳です。

まず、飛行機でタイに入り、乗り換えてネパールに行きました。どんな所なのか、おっかなびっくりでしたが堂々とネパールの隣人になりきっている山田先生の後について行くのですから大丈夫と安心致しました。まずカトマンズにつきました。色とりどりの民族衣装を着た人が空港にあふれ、何語かわかりませんが大声でしゃべり合っています。その間をぬって目的地に向かいます。

必死で山田先生の後をついて行きました。行く先々、人があふれ道に下着を並べ売っている人、道の両側には、日干し煉瓦で作られたアパートがいっぱい、洗濯物が風にひるがえっていました。また、ネパールへ行って一番驚いたことは歩道に人は勿論、牛も犬も猫も皆同じ方向に向かって黙々と歩いているのです。誰もこわがりません。同行の方が「黒い犬に気をつけなさい」と云われ、始めはこわかったのですが、その内、馴れました。宿へ着きました。門が高くて、その上に槍のようなものがピカピカ光って何本もついているのです。「何で?」、トラが人間の飼っている動物を襲うのだそうです。それで用の無いときは、門をピタッと閉めておくのだそうです。

そして、第一目の夕食です。パンに鳥の照り焼き（身のしまつて味のあるお肉で）とてもおいしかったです。それに春菊のような野菜のゴマ和え、日本食と似てて、美味しく頂きました。それに食後のフルーツは、宝石のような実がいっぱい入ったザクロ、これも甘酸っぱくて美味しかったですね。

ネパールは、お寺が多いんですねオレンジ色に染められた、お寺がいっぱい、お参りする信徒もいっぱい、道の辻々にも、祠があり、赤い色を額につけてお祈りしています。オレンジの衣をつけたお坊さんも、いっぱい見かけました。お寺の中では、読経も長い時間、上げられていました。又、お祭りにも出逢え、その熱狂ぶりにも圧倒されました。

古いお寺の高い窓から、少女か、神の生まれ変わりとして 3 年間閉じ込められ、時間毎に窓から、顔を見せ、皆さん、熱狂的に祈りしている不思議な光景にも出逢いました。

又、施設めぐりも、孤児院、養老院とどの施設もさっぱりとした環境におかれ、町の雑とうとは、離れたところで静かな時間が流れていました。どの施設でもシスター方が献身的にたずさわっておられました。

又、プロペラ機で、ポカラと云うところへ日本の大木章次郎神父様が居られるそうで、子供の施設では、子供達と一緒に歌ったり、踊ったり、お祈りもしました。とても楽しい一時でした。

一昨年、大木神父様は、日本にお帰りになられ天寿を全うされたそうです。ポカラで神父様のおつくりになられた教会をもう一度、お訪ねしたかったです。

ネパールへついて三日目位でしたが人里離れた学校をお訪ねしました。お教室と云っても、窓一つない物置小屋のような中に、裸電球が一つわびしくともっている中で子供達がいっぱい、目を輝かせていました。その時もノート、鉛筆、消しゴムを上げたのですが、皆さん、大喜びでかかえてましたね。

運動場と云っても草原ですが全校生と先生も私達も皆で、東北の民謡を同行の方に教えてもらい踊りました。日本のジャンケン遊びもしました。皆が一つになり、笑顔で歌い踊り、本当に楽しませてもらいました。

次の日は、立派なホテルでゆっくり楽しませて貰いました。夜、笛と共に現地の踊りを月明かりの庭で見せて頂き、すごく幻想的で酔いしれました。

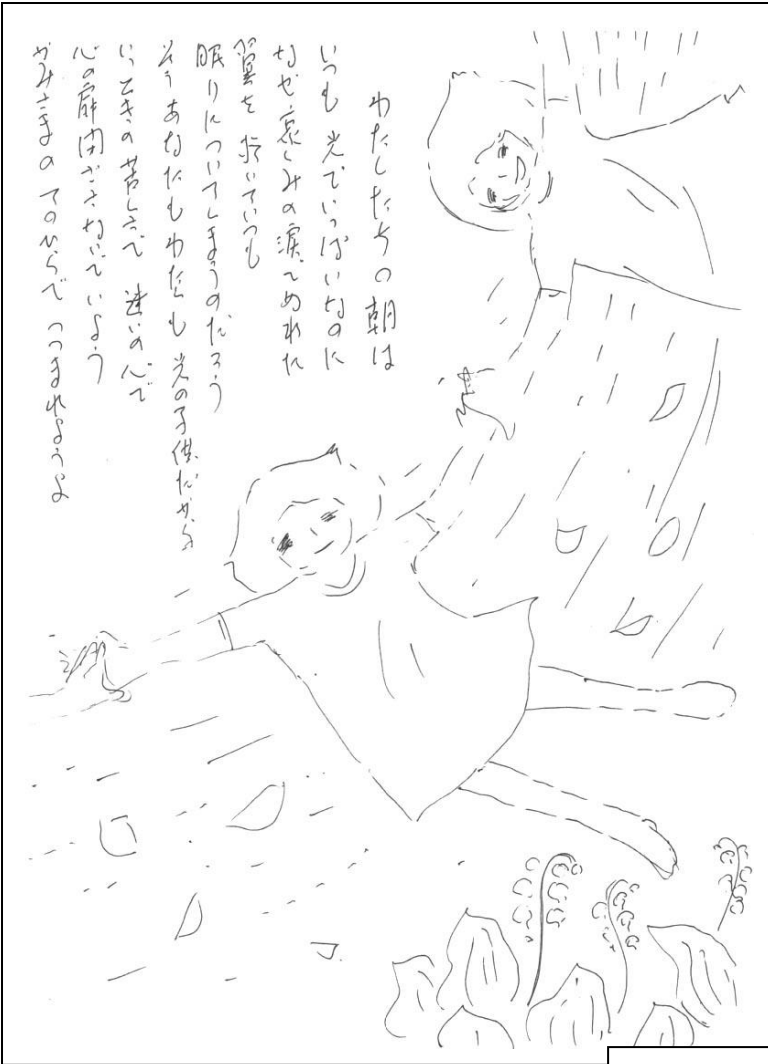
唯、残念なのは、ヒマラヤ連峰が見られなかったことです。季節的に今頃は、見られないことが多く、でも帰りの飛行機から雲海の上に頭が少々出ているヒマラヤを眺め、素晴らしい旅が終わりました。

神様に心から感謝です。

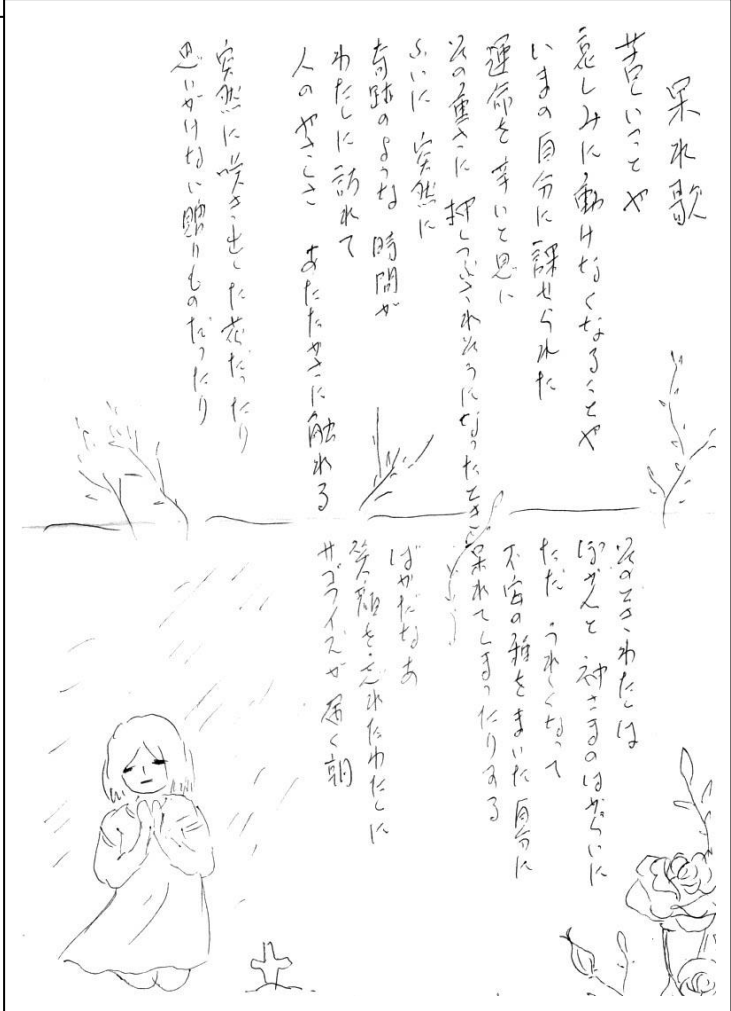
一昨年、ネパールは、大地震に見舞われました。お寺も住宅も大変だそうです。

ネパールにも支援の手が届きますように心からお祈り致します。

2016年7月25日



わたしたちの朝は
 いらも光でいっぱいなのに
 わたし涙の涙のめかけ
 涙を 拭いて
 眠りについしすうのたろ
 どうあわいもわいも 夫の子供たが
 いとまのまをこへ 泣いて
 心の扉は 閉ざして
 ぐみちの ころん (Cry)



呆水歌

甘んじてや
 息しみに動けなくなるこや
 いまの自分に課せられた
 運命を まいと
 次の重みに 押しつぶされたい
 さいに 突然に
 奇跡のよう時間や
 わたしに訪水て
 人のやさしさ またまた
 突然に 泣き止んだ
 思ひ切に 涙も たりたり

次は わたしの
 神さまの はなれ
 ただ うれしく
 不意の 箱を まいた
 呆水て しま
 けやたあ
 びんを えんた
 甘んじてや 届く朝

† 今月の典礼奉仕表（８月） †

日	第一朗読	第二朗読	共同祈願奉仕	聖堂案内
8月 7日	こどもと共にささげるミサ		今井（繁）	チョン
14日	今井（勇）	杉田	今井（久）	今井（洋）
15日	原田	池田	御荘	芦沢（マ）
21日	高原	丸山（美）	大木	御荘
28日	遠藤	広瀬	山田	武井
9月 4日	こどもと共にささげるミサ		宮田	大井

† 今月のこよみ（教会暦、行事等） †

- ・ 主日のミサ 日曜日 10:30～、土曜日 18:00～（イエスのカリタス甲府修道院）
- ・ 平日のミサ 火・金・土曜日 06:50～（但し初金のミサ 9:30～）

8月 7日（日）	年間第19主日	10:30 ～	ミサ（教会委員会）	
		15:00 ～	スペイン語ミサ（Español）	
14日（日）	年間第20主日	10:30 ～	ミサ	
		15:00 ～	ポルトガル語ミサ（Português）	
15日（月）	聖母の被昇天	9:00 ～	ミサ	
21日（日）	年間第21主日	10:30 ～	ミサ	
		12:30 ～	韓国語ミサ（한글）	
28日（日）	年間第22主日	10:30 ～	ミサ	
		15:00 ～	英語ミサ（English）	
9月 4日（日）	年間第23主日	10:30 ～	ミサ（女性会）	

清掃当番表（8月、9月 各ブロック輪番制）

8月 6日（土） 北・南・峡南ブロック	8月 27日（土） 峡西・中央ブロック
8月 7日（日） ペルーグループ	8月 28日（日） フィリピングループ
8月 14日（日） ブラジルグループ	9月 4日（日） ペルーグループ
8月 21日（日） 韓国グループ	9月 10日（土） 山城ブロック